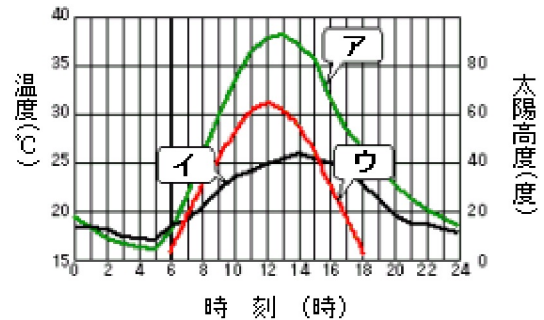


### 気象・大地の変化

- (001) 気温をはかる場所は、地上( )mから( )mまでの、  
( )のよい( )。
- (002) 気温を1日に1回はかるときは、1日の( )気温に近い、午前  
( )時にはかる。
- (003) 百葉箱は、( )いペンキでぬってあり、( )をよくする  
ためよろい戸を使っている。
- (004) 浅い地中の温度をはかるときは( )を使う。
- (005) 地中深いところの地中の温度をはかるときは( )を使う。
- (006) 晴れた日の気温は、( )時ごろ最高になり、( )前  
に最低になる。
- (007) 晴れた日の地温は、( )時ごろ最高になり、( )前  
に最低になる。
- (008) 気温と地温では、( )の方が日較差が大きい。
- (009) 雲量( )が快晴、( )が晴れ、( )  
がくもり。
- (010) 雨量の単位は( )。
- (011) 風向は、観測時刻前の( )分間で最も多くさした方向を、  
( )方位で表す。
- (012) 風速の単位は( )。
- (013) 風力は、( )までの( )段階で表す。
- (014) 風は( )気圧から( )気圧に向かってふく。
- (015) 水と土とをくらべると、( )の方があたたまりやすく、冷えやすい。
- (016) 晴れた日の海岸地方では、昼間は( )が、夜間は( )が  
ふく。
- (017) 晴れた日の海岸地方では、1日に( )回、風がやんでいるときがある。  
これを( )という。
- (018) 夏は( )からの季節風がふき、冬は( )からの季節風が  
ふく。
- (019) 冬の季節風は、日本海上でたくさんの( )をふくんで、  
( )状の雲をつくる。
- (020) 地球の自転によって、日本の上空にはいつも強い( )からの風がふく。  
これを( )という。
- (021) しめった風が山をこえてかわいた熱風になる現象が、( )現象。
- (022) 6～7月ごろ、長い雨やくもりの日が続く。この時期を( )という。
- (023) 熱帯地方で発生した( )が、風速が毎秒( )m  
以上になったものを台風という。
- (024) ( )は、地域気象観測システムの略語。
- (025) 気象衛星の( )は、地上からは止まっているように見えるので、  
( )衛星とよばれる。

( 3 の 2 )

□□□ (026) 右のグラフにおいて、太陽高度を表しているのは( )、気温を表しているのは( )、地温を表しているのは( )。



□□□ (027) 太陽高度は( )時ごろ、気温は( )時ごろ、地温は( )時ごろに最高になる。

最高になる時刻がずれている理由は、( )。

□□□ (028) 気温も、地温も( )ごろに最低になる。

□□□ (029) 1年の間では、太陽高度は( )月ごろ、地温は( )月ごろ、気温は( )月ごろに最高になる。

□□□ (030) 土砂が積み重なってしまもように見えるような重なりを( )といい、( )や( )で見られる。

□□□ (031) レキ・砂・どろのうち、河口近くの浅いところに積もるのは( )で、遠くまで運ばれて深いところに積もるのは( )。

□□□ (032) 岩石には、海などで積もったA( )岩と、( )が冷えて固まったB( )岩に分かれる。

□□□ (033) Aはふつう角が( )いるが、例外が( )岩。この岩石は、( )などが固まってできた岩石。

□□□ (034) Aのうち、小石が固まったものが( )岩。砂が固まったものが( )岩、どろが固まったものがC( )岩。

□□□ (035) Cがさらに固くなったものが( )岩。( )の材料。

□□□ (036) Aのうち、生物の死がいがい積してできたのが( )岩。

□□□ (037) ( )の死がいがい積してできたのが( )で、昔は( )として使われていた。

□□□ (038) 地下水は( )のそうの上にとまりやすい。

□□□ (039) 火山灰のつぶは、火山の( )側にたい積しやすい。その理由は、日本の上空に( )がふいているから。

□□□ (040) レキ・砂・どろなどがとぎれることなくたい積している重なり方を、( )という。

□□□ (041) ( )面があると、一度陸になったことがわかる。

□□□ (042) 左右からの力を受けて地層が曲がることを( )という。( )山脈、( )山脈など。

□□□ (043) 地層が大きな力を受けてくいちがいできたことを( )という。( )山脈、( )山脈、( )山脈など。

□□□ (044) (043)のうち、これからも活動する可能性があるものを( )という。

□□□ (045) 大昔の生物の死がいや生活のあとを、( )という。時代がわかるD( )と、かんきょうがわかる( )がある。

( 3 の 3 )

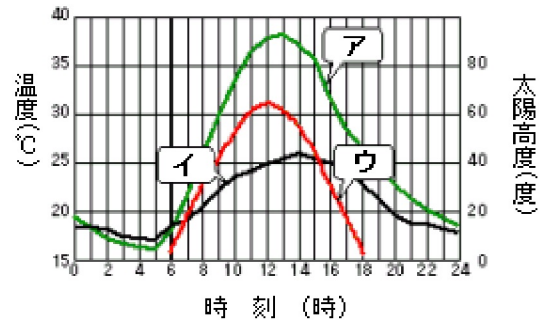
- (046) サングの化石があると、( )・( )・  
( )・( )だったことがわかる。
- (047) ホタテの化石があると、( )・( )だったことがわかる。
- (048) (045)のDとなる生物の条件  
…生存期間が( )。世界中に( )分布する。数が( )。
- (049) (045)のDのうちおもなもの(古い方から)  
…( )代の( )・( )。  
( )代の( )・( )。  
( )代の( )・( )。  
このうち、今から1億年前をふくむ時代は、( )代。
- (050) 今も活動を続けていたり、今から1万年以内にふん火したことがわかっている  
火山を( )といい、日本に( )あり、地球上には約  
( )ある。半数以上は( )に属する。
- (051) 深くて細長い海底を( )といい、( )の運動によっ  
てできる。それと平行に( )がある。
- (052) 地球の表面は( )というかたい岩の層。  
その下に( )がある。さらに真ん中には( )がある。
- (053) マグマは、温度が( )なほど、ねばりけが弱い。  
また、( )が( )いほど、ねばりけが弱い。
- (054) マグマが地表に出たものを( )という。
- (055) 火山ガス・火山灰などが山の斜面を流れ下る現象を( )という。
- (056) 火山の中央部が大きく落ちこんでできたものを( )という。
- (057) (032)のBで、地表近くで急に冷えてできた岩石を( )岩という。  
( )岩・( )岩・( )岩など。  
大きいつぶは( )い。
- (058) (032)のBで、地下深いところでゆっくり冷えてできた岩石を( )岩  
という。E( )岩・( )岩・( )  
岩など。大きいつぶは( )い。
- (059) (058)のEは、( )・( )・( )  
などの( )できている。
- (060) 地震が発生した場所が( )、その真上の地表の場所が( )。
- (061) 地震の波には、速く伝わる( )波(秒速( )km)と、おそく  
伝わる( )波(秒速( )km)がある。
- (062) 地震のゆれのうち、はじめの小さなゆれを( )といい、あとの  
大きなゆれを( )という。
- (063) 地震そのものの大きさを表す単位が( )。1階級大きく  
なるごとに、地震の大きさは( )倍になる。
- (064) 岩石が空気や水などによってしん食されることを( )という。
- (065) ( )岩できている土地では、( )地形が見ら  
れ、地下では( )が見られる。

### 気象・大地の変化

- (001) 気温をはかる場所は、地上( 1.2 )mから( 1.5 )mまでの、  
( 風通し )のよい( 日かげ )。
- (002) 気温を1日に1回はかるときは、1日の( 平均 )気温に近い、午前  
( 9 )時にはかる。
- (003) 百葉箱は、( 白 )いペンキでぬってあり、( 風通し )をよくする  
ためよろい戸を使っている。
- (004) 浅い地中の温度をはかるときは( 曲管地中温度計 )を使う。
- (005) 地中深いところの地中の温度をはかるときは( 鉄管地中温度計 )を使う。
- (006) 晴れた日の気温は、( 午後2 )時ごろ最高になり、( 日の出 )前  
に最低になる。
- (007) 晴れた日の地温は、( 午後1 )時ごろ最高になり、( 日の出 )前  
に最低になる。
- (008) 気温と地温では、( 地温 )の方が日較差が大きい。
- (009) 雲量( 0～1 )が快晴、( 2～8 )が晴れ、( 9～10 )  
がくもり。
- (010) 雨量の単位は( ミリメートル )。
- (011) 風向は、観測時刻前の( 10 )分間で最も多くさした方向を、  
( 16 )方位で表す。
- (012) 風速の単位は( 毎秒何メートル )。
- (013) 風力は、( 0～12 )までの( 13 )段階で表す。
- (014) 風は( 高 )気圧から( 低 )気圧に向かってふく。
- (015) 水と土とをくらべると、( 土 )の方があたたまりやすく、冷えやすい。
- (016) 晴れた日の海岸地方では、昼間は( 海風 )が、夜間は( 陸風 )が  
ふく。
- (017) 晴れた日の海岸地方では、1日に( 2 )回、風がやんでいるときがある。  
これを( なぎ )という。
- (018) 夏は( 南東 )からの季節風がふき、冬は( 北西 )からの季節風が  
ふく。
- (019) 冬の季節風は、日本海上でたくさんの( 水蒸気 )をふくんで、  
( すじ )状の雲をつくる。
- (020) 地球の自転によって、日本の上空にはいつも強い( 西 )からの風がふく。  
これを( 偏西風 )という。
- (021) しめった風が山をこえてかわいた熱風になる現象が、( フェーン )現象。
- (022) 6～7月ごろ、長い雨やくもりの日が続く。この時期を( 梅雨 )という。
- (023) 熱帯地方で発生した( 熱帯低気圧 )が、風速が毎秒( 17.2 )m  
以上になったものを台風という。
- (024) ( アメダス )は、地域気象観測システムの略語。
- (025) 気象衛星の( ひまわり )は、地上からは止まっているように見えるので、  
( 静止 )衛星とよばれる。

( 3 の 2 )

- (026) 右のグラフにおいて、太陽高度を表しているのは( ウ )，気温を表しているのは( イ )，地温を表しているのは( ア )。
- (027) 太陽高度は( 12 )時ごろ，気温は( 14 )時ごろ，地温は( 13 )時ごろに最高になる。



最高になる時刻がずれている理由は、

( 太陽熱が地面をあたため、地面からの熱によって空気があたためられるから )。

- (028) 気温も、地温も( 日の出前 )ごろに最低になる。
- (029) 1年の間では、太陽高度は( 6 )月ごろ，地温は( 7 )月ごろ，気温は( 8 )月ごろに最高になる。
- (030) 土砂が積み重なってしまもように見えるような重なりを( 地層 )といい、( がけ )や( 切り通し )で見られる。
- (031) レキ・砂・どろのうち、河口近くの浅いところに積もるのは( レキ )で、遠くまで運ばれて深いところに積もるのは( どろ )。
- (032) 岩石には、海などで積もったA( たい積 )岩と、( マグマ )が冷えて固まったB( 火成 )岩に分かれる。
- (033) Aはふつう角が( 丸まって )いるが、例外が( ぎょうかい )岩。この岩石は、( 火山灰 )などが固まってできた岩石。
- (034) Aのうち、小石が固まったものが( レキ )岩。砂が固まったものが( 砂 )岩，どろが固まったものがC( デイ )岩。
- (035) Cがさらに固くなったものが( ねん板 )岩。( すずり )の材料。
- (036) Aのうち、生物の死がいがい積してできたのが( せっかい )岩。
- (037) ( ホウサンチュウ )の死がいがい積してできたのが( チャート )で、昔は( 火打ち石 )として使われていた。
- (038) 地下水は( ねん土 )のそうの上にとまりやすい。
- (039) 火山灰のつぶは、火山の( 東 )側にたい積しやすい。その理由は、日本の上空に( 偏西風 )がふいているから。
- (040) レキ・砂・どろなどがとぎれることなくたい積している重なり方を、( 整合 )という。
- (041) ( 不整合 )面があると、一度陸になったことがわかる。
- (042) 左右からの力を受けて地層が曲がることを( しゅう曲 )という。( ヒマラヤ )山脈，( アルプス )山脈など。
- (043) 地層が大きな力を受けてくいちがいできたことを( 断層 )という。( 赤石 )山脈，( 木曾 )山脈，( 飛騨 )山脈など。
- (044) (043)のうち、これからも活動する可能性があるものを( 活断層 )という。
- (045) 大昔の生物の死がいや生活のあとを、( 化石 )という。時代がわかるD( 示準化石 )と、かんきょうがわかる( 示相化石 )がある。

( 3 の 3 )

- (046) サンゴの化石があると、( あたたく )・( きれいな )・  
( 浅い )・( 海 )だったことがわかる。
- (047) ホタテの化石があると、( 冷たい )・( 海 )だったことがわかる。
- (048) (045)のDとなる生物の条件  
…生存期間が( 短い )。世界中に( 広く )分布する。数が( 多い )。
- (049) (045)のDのうちおもなもの(古い方から)  
…( 古生 )代の( サンヨウチュウ )・( フズリナ )。  
( 中生 )代の( キョウリュウ )・( アンモナイト )。  
( 新生 )代の( マンモス )・( ビカリア )。  
このうち、今から1億年前をふくむ時代は、( 中生 )代。
- (050) 今も活動を続けていたり、今から1万年以内にふん火したことがわかっている  
火山を( 活火山 )といい、日本に( 110 )あり、地球上には約  
( 800 )ある。半数以上は( 環太平洋火山帯 )に属する。
- (051) 深くて細長い海底を( 海溝 )といい、( プレート )の運動によっ  
てできる。それと平行に( 火山前線 )がある。
- (052) 地球の表面は( 地かく )というかたい岩の層。  
その下に( マントル )がある。さらに真ん中には( 核 )がある。
- (053) マグマは、温度が( 高温 )なほど、ねばりけが弱い。  
また、( 二酸化ケイ素 )が( 少な )いほど、ねばりけが弱い。
- (054) マグマが地表に出たものを( よう岩 )という。
- (055) 火山ガス・火山灰などが山の斜面を流れ下る現象を( 火さい流 )という。
- (056) 火山の中央部が大きく落ちこんでできたものを( カルデラ )という。
- (057) (032)のBで、地表近くで急に冷えてできた岩石を( 火山 )岩という。  
( りゅうもん )岩・( あんざん )岩・( げんぶ )岩など。  
大きいつぶは( 少な )い。
- (058) (032)のBで、地下深いところでゆっくり冷えてできた岩石を( 深成 )岩  
という。E( かこう )岩・( せんりよく )岩・( はんれい )  
岩など。大きいつぶは( 多 )い。
- (059) (058)のEは、( セキエイ )・( チョウ石 )・( 黒うんも )  
などの( 鉱物 )でできている。
- (060) 地震が発生した場所が( 震源 )、その真上の地表の場所が( 震央 )。
- (061) 地震の波には、速く伝わる( P )波(秒速( 8 )km)と、おそく  
伝わる( S )波(秒速( 4 )km)がある。
- (062) 地震のゆれのうち、はじめの小さなゆれを( 初期微動 )といい、あとの  
大きなゆれを( 主要動 )という。
- (063) 地震そのものの大きさを表す単位が( マグニチュード )。1階級大きく  
なるごとに、地震の大きさは( 32 )倍になる。
- (064) 岩石が空気や水などによってしん食されることを( 風化 )という。
- (065) ( せっかい )岩でできている土地では、( カルスト )地形が見ら  
れ、地下では( しょうにゅうどう )が見られる。